

保健師、管理栄養士からのお知らせ

腎シリーズ！

第1弾

ご存知ですか？ 国民の400人に1人が人工透析を受けています。

最近、生活習慣病である糖尿病・高血圧が悪化し、人工透析に至るケースが増えています。増加の一途をたどる透析患者数、決して人ごとではありません。

皆さんは、腎臓についてどんなイメージがありますか？

おそらく、おしっこをつくる場所や悪くなると透析になるといったことが思い浮かぶのではないのでしょうか？

実は、腎臓は小さい臓器ですが、おしっこをつくる以外にもたくさんの大切な働きをしています。

この大事な腎臓が働かないで、透析を受ける方は、下のグラフのとおり年々増えており、現在、日本において、国民の400人に1人が人工透析を受けていると言われています。

桂川町においても同等の人数の方が人工透析を受けています。透析治療は、高額な医療費を伴うだけでなく、長時間透析を受けることで本人の負担はもちろん、生活スタイルが大きく変わることによって家族への負担も大きくなります。

腎臓の働きや腎臓が悪くなる原因、その予防について、2カ月に1回の予定で連載します。腎臓について一緒に考えていきましょう。次回は、3月号に「腎臓の働きについて」を掲載する予定です。

慢性透析患者数の推移

